



2020年6月19日

各位

所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
会社名 株式会社 ギガプライズ
代表者名 代表取締役社長 梁瀬 泰孝
(コード番号 3830 名証セントレックス)
問合せ先 取締役 植田 健吾
電話番号 03-5459-8400 (代表)

2021年3月期 連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想について

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	15,443	1,575	1,529	993	66.02
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	13,649	1,235	1,198	512	34.07

(2) 公表の理由

当社が2020年5月12日に公表した「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。2020年5月25日に政府により緊急事態宣言が解除され、当社主要事業である集合住宅向けISP事業の大手包括提携先の営業自粛の解除や不動産事業におけるイオンモール株式会社の店舗営業が再開されつつあります。このことから当社グループの事業に与える影響は、第3四半期以降に収束するものと想定し、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとに連結業績予想を作成、公表するものであります。

なお、今回の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の発生等、今後想定されるリスクによる影響は考慮しておりません。開示すべき重要事実が発生した場合には、適時開示規則及び当社の情報開示の基準に則り、速やかに開示いたします。

(3) 連結業績予想の理由

当社の主要事業である HomeIT 事業につきまして、大手包括提携先の建設工事の中断及び営業エリア縮小等の影響を受ける一方で、外出自粛やテレワークへの移行等を背景に、生活インフラとして安全で安定したインターネット環境の重要性が再認識されております。

このような状況の下、集合住宅向け ISP サービスの提供戸数は、緊急事態宣言期間中の大手包括提携先からの受注数の減少等の影響により、前連結会計年度 13.8 万戸増に比べ、0.8 万戸減の 13.0 万戸増、累計提供戸数 69.4 万戸（前連結会計年度末 56.4 万戸）を見込んでおります。

不動産事業につきましては、緊急事態宣言発出後、イオンモール株式会社の営業時間短縮、店舗休業により、AHN（※）店舗も休業等を余儀なくされ、加えて AHN 店舗の新規出店の遅れが生じております。新型コロナウイルス感染症の影響を最小限にするべく、連結子会社である株式会社フォーメンバーズが AHN 加盟店の運営本部として、VR 技術を活用した遠隔接客等の新たな営業スタイルの推進等、AHN 既存店舗へのフォローアップを強化するとともに、当初の目的であった AHN 加盟店による当社集合住宅向け ISP サービスの販売体制の確立に注力してまいります。

また、社宅管理代行業業につきましては、イオンモール株式会社をはじめとするイオングループ各社の社宅管理代行サービスの取扱い件数の更なる拡大を推進してまいります。

以上の結果、売上高につきましては、集合住宅向け ISP サービスの提供戸数の増加数が前連結会計年度に比べ減少するものの、同サービスのランニング売上の積み上げ、不動産事業の成長等により、前連結会計年度比 13.1%増の 15,443 百万円を見込んでおります。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高の増加及び前連結会計年度の施工管理体制強化による業務の効率化が進んだこと等により、営業利益は、前連結会計年度比 27.5%増の 1,575 百万円、経常利益は、前連結会計年度比 27.6%増の 1,529 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度比 93.8%増の 993 百万円を見込んでおります。

※ AHN : Aeon Housing Network の略。イオンハウジングにおけるネットワーク店舗の呼称

(注) 業績予想等の将来に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上